

大阪医科薬科大学看護学部 2022 年度前期授業に関する方針

2022 年 3 月 17 日 看護学教育センター

新型コロナウイルス感染者数は徐々に減少傾向にありますが、未だ安心できない状況です。本学部は、文部科学省より令和 4 年 3 月 4 日に通達されている「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」と本学の基本方針に従って前期授業の方針を下記の通りとします。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって、その都度授業方法や時間割を変更することになると思いますのでご了解ください。

学生の皆様の安全を考えつつ、学修内容の質を担保するため、感染予防対策を徹底したうえで前期授業を実施します。新型コロナウイルス感染症には十分に気をつけて授業に臨んでください。

1. 学事日程について

- ・前期授業は、新型コロナウイルス感染状況を考慮して対面による授業（以下面接授業とする）あるいはハイブリッド授業（面接授業とオンライン授業の併用）を基本として実施します。
- ・学事日程は配付した通りです。学事の変更等がある場合は、その都度ユニバーサルパスポート（UNIPA）にて配信します。

2. 授業方法について

講義や演習は、感染状況を確認しつつ 3 密を回避するために面接授業とオンライン授業（同時双方向授業は Zoom を使用）を組み合わせを行い、感染防止に努めます。

但し、今年度からコロナ禍とは関係なく、科目によって一部オンデマンド授業を導入します。

1) 講義科目

- ・1 単位 15 時間（自学自習を含む 45 時間）の学修内容を保証します。
- ・講義科目に関しては、面接授業あるいはハイブリッド授業で行います。
- ・全員面接授業の場合は、教室として講堂（全員）、講義室 1・3 と講義室 4・5 を使用します。講義室を使用する場合は、各学年で A グループと B グループに分かれて半数ずつの学生が各教室に入ります。但し、感染状況が落ち着けば 1 学年 1 教室とし、元に戻す予定です。
- ・ハイブリッド授業の場合には、半数の学生は面接授業、残り半数の学生は自宅でのオンライン授業となります。オンライン授業を受ける学生は、時間割通りに自宅から Zoom にアクセスをして授業を受けてください。
- ・1 年生は、英語のクラス分けの A グループと B グループとします。
- ・2～4 年生は、A グループ（学籍番号下 4 桁：001～045）と B グループ（学籍番号下 4 桁：046～最終番号）とします。

【全員講義の場合の例】講義室を週ごとに入れ替えます。

講義室 1/講義室 3（講義室 4/講義室 5）：A グループは講義室 1(4)、B グループは講義室 3(5)

講義室 3/講義室 1（講義室 5/講義室 4）：A グループは講義室 3(5)、B グループは講義室 1(4)

【ハイブリッド授業の場合の例】

1 週目：A グループは面接授業、B グループは自宅でのオンライン授業

2 週目：B グループは面接授業、A グループは自宅でのオンライン授業

- ・学生の皆様は、パソコンとインターネット環境を整えてください。パソコンやインターネット環境の準備ができない学生に対しては、文科省の通達「大学等における遠隔授業の実施に当たっての学生通信環境への配慮などについて」に基づいて、個別対応をします（ノートパソコンの貸出しをします。あるいは登校を許可します）。看護学事務課に申し出をしてください。
- ・資料はなるべく事前に配付します。配付できない科目は、Moodle に前日の昼までにはアップしますので、個別で資料を印刷してご準備ください。
- ・期末試験あるいはそれに相当する試験は、面接授業とします。

2) 演習科目

- ・1単位 30 時間（自学自習を含む 45 時間）の学修内容を保証します。
- ・演習科目のうち、面接授業でしかできないもの（グループワークや技術演習、体育など）は 3 密にならないように時間割や教室を分けるなど工夫して授業を行います。
- ・グループワークや技術演習の際には、必ずフェースシールドを着用してください。

3) 実習科目

- ・1単位 45 時間（臨地での実習時間）の学修内容を保証します。
- ・4年生は、基本的に臨地（病院、訪問看護ステーション、クリニック、施設、企業、保健センター等）において実習を行い、施設により実習受入れが中止の場合は、1単位 30 時間以上の臨地実習時間の確保と、同科目の実習時間にグループ差がでないように考慮して、他施設を含めた調整を行います。不足時間は、学内演習等の代替方法により、学修内容を保証します。

3. 時間割等について

- ・3月下旬に皆様に UNIPA にて配信します。紙ベースの時間割が欲しい学生は、履修のてびきやシラバスと一緒に看護学事務課で受け取ってください。

4. 出欠席管理について

- ・出欠席の登録は、面接授業に出席している学生は教室の出欠端末で行ってください。
- ・オンライン授業を受ける学生は科目責任者の指示に従ってください。基本的には Zoom のチャット機能を用いて授業開始時に学籍番号と名前を登録してください。
- ・オンライン授業の出欠については UNIPA への反映に時間がかかる場合がありますのでご了解ください。
- ・本来は面接授業を受ける日であるにもかかわらず、新型コロナウイルス感染症以外の理由（寝坊、体調不良、病気など）で面接授業を欠席した者は、通常通りの扱いとして欠席になります。
尚、欠席にはなりますが授業の聴講を希望する場合は、科目責任者の許可を得た上で Zoom による授業の参加は可能です。非常勤講師の場合は看護学事務課にご相談ください。
また、新型コロナウイルス感染症で授業を欠席する場合や、授業の聴講を希望する場合は、Zoom 設定等の準備がありますので、授業開始 30 分前までには科目責任者に連絡してください。

5. 教室の使用について

- ・講義・演習の場所は、時間割をご参照ください。
- ・授業中は、窓と教室の扉を開放し、換気扇を「on」にして常に換気をしましょう。
- ・昼食時はマスクを着用しながら、黙食を遵守してください。

6. 新型コロナウイルス感染症発症時の対応について

万一、学生が新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、以下の通りとします。

1) 講義・演習科目

- ・発熱、および健康調査票の症状がある場合（疑感染者）は、保健管理室に報告し、保健管理室の指示に従ってください。必ず科目責任者（非常勤教員は看護学事務課）にも連絡してください。
- ・新型コロナウイルス感染症が発症した場合（当該感染者）は、保健管理室に報告し行政の指示に従い出校停止（自宅待機）となります。必ず科目責任者（非常勤教員は看護学事務課）にも連絡してください。
- ・当該感染者の濃厚接触者になった場合、行政の指示に従い出校停止（自宅待機）となります。
- ・当該感染者の自宅待機者（無症状あるいは軽傷）および濃厚接触者は、自宅でオンライン授業を受けるようにしましょう。
- ・当該感染者で入院あるいは隔離を要する者で授業日数が不足する学生は、欠席した授業科目において後日オンライン授業あるいは補習授業を受けられるように配慮します。

2) 実習科目

- ・発熱、および健康調査票に記載の症状がある場合（疑感染者）は、担当教員および保健管理室に報告し、実習への参加は保健管理室の指示に従ってください。
- ・新型コロナウイルス感染症が発症した場合（当該感染者）は、担当教員および保健管理室に報告し行政の指示に従い出校停止（自宅待機）となります。
- ・当該感染者の濃厚接触者になった場合、行政の指示に従い出校停止（自宅待機）となります。
- ・実習病棟で（当該感染者）が出た場合も、受け持ち患者および当該病棟のスタッフに陽性者がでていない場合は実習を続行します。その場合には、担当教員から当該病棟で陽性者が出たこと、実習続行と判断した根拠、感染予防行動の確認、不安が強い・持病があるなどの事情がある場合は教員が個別に相談に乗ることを説明し、安心して実習に臨める環境作りに努めます。その上で実習に参加できない場合は、欠席となります。
- ・当該感染者や濃厚接触者、疑感染者などで実習日数が不足する学生は、後日追実習を受けられるように配慮します。

以上